

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス太田教室		
○保護者評価実施期間	2025年1月7日		～ 2025年1月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年1月7日		～ 2025年2月3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者及び保護者の方への丁寧な対応	利用者の方の状況報告や活動、計画や利用する上での変更事項等、保護者の方への説明を忘れずにしている。	忙しいご家庭の方や事情により利用頻度が少ない方への説明が迅速に行われるよう、SNSやメール等、ICTの活用へ力を入れる。
2	利用者の方の安全確保	活動的な利用者の方が多いが、余暇時間にやりたいことが目いっぱい楽しめるよう、環境の整備を行っている。また、指導員が声掛けをして色々な利用者とも一緒に取り組めるように橋渡しなどを行っている。	異学年交流や利用者同士のコミュニケーションがもっと図れるよう、環境配慮や遊具の整備を行う。
3	支援プログラムやイベントの豊富さ	利用者の方が楽しめるように、イベントやプログラムの考案をその都度行っている。また、実施したイベントやプログラムの反応、予算、行程などを記録し、次回以降にも活かしている。	利用者に対してもそうだが、保護者の方も安心して送り出せるような配慮や環境設定、事前情報共有などをさらに充実させる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別対応がしづらい。	隔離された空間の用意がなく、お互いの声が聞こえる環境になってしまう。面談室等で別室はあるものの、静かな空間で落ち着くことや、外部刺激のない環境で課題に取り組むことができない。	教室外で取り組むことのできる環境用意、もしくは、教室生徒を別の場所で過ごすような職員配置、環境探しなど。
2	地域の他の子どもや、保護者同士の交流が薄い。	子どもによって、同じ学校の生徒に会いたくない、どこに通っているか聞かれたときに答えられない、などの意見がある。また、保護者同士の交流と利用者預かりを両立させるための場所や人員の確保が現状難しい。	希望者のみ参加できるような状態にできればよいが、希望する利用者としてでない利用者が同日利用している場合に、分けて実施することが人数上難しい。保護者同士の交流については、実施曜日や預かり時間とずらすなど、十分に検討したうえで実施をしてみたい。
3	家族支援プログラム(ペアレントプログラム、ペアレントトレーニング)が実施できていない。	職員の平均年齢が若く、家族支援プログラム(ペアレントプログラム、ペアレントトレーニング)の研修も受講していないため、実施ができていない。	研修の積極的な受講、外部リソースによる家族支援プログラムの実施、専門的支援可能な人材の獲得など。